

3月8日（日） 黒斑山山行報告 「3月休日例会山行」

参加者：石井、森田、大西、高橋

集合：佐久平駅前 8：20 （東京駅 6:52 発あさま 601 号→佐久平駅 8:13 着）

行程：佐久平駅 8:35→車坂峠 9:30（高峰高原ビジターセンター） 10:20→トーミの頭 11:30⇒黒斑山
12:50(昼食)13:25⇒トーミの頭 13:45⇒車坂峠 14:50⇒（高峰高原ビジターセンター） 16:20→
佐久平駅 17:30

当初7名だった参加者が、都合により4名になり東京駅を出発。晴天だが強風という予報でいかほどかと多少心配。佐久平駅にバスは2台来ていて、全員座れた。車坂峠は標高 1973m で、バスは1時間近くグイグイ登った。降りた時、冷たい風が吹いていた。覚悟していたのでああ、やっぱりと思った。ビジターセンターに駆け込んで身支度を整えた。ここの一階にトイレと椅子やベンチがあり、とても便利で快適だ。さて、山の端まで行って、いよいよアイゼン装着。石井さん以外の3人は悪戦苦闘。手袋を着けてだから、そうスムーズにはいかない。しかし、ここでしっかり付けることができたので、最後までズレたり外れたりしなかった。

行きは表コース、帰りは中コースの予定である。多くを樹林帯の中を歩くので風は頂上付近かなと予想。登りの半分位で下山の若者二人とすれ違った。「ガスはなく、浅間山がくっきり見えますよ」と声をかけてきた。「風はどうですか？」思わず聞くと「無風です」との答え。心配がいっぺんに吹き飛んだ。今まで強風の中での山行も何度か経験している。



そういう経験も大事ではあるが、晴天、無風は願ってもない最高の条件。素直に神に感謝。

外輪山の縁に出てからは、浅間山の巨大なガトーショコラを見ながら登って行った。相変わらず樹林帯の中の道が多いのだが、所々展望の良い所があった。トーミの頭の手前の南斜面は雪がとけて泥になっていた。春の雪山にはよくあることだが、岩と泥で歩き難かった。あと中コースの南斜面も泥々だった。



黒斑山頂上に着くと大西さんが腹痛を訴えた。昼食後、とにかく下山。途中から西の方に穂高、槍ヶ岳がくっきり見え、きれいだった。さらに行くと高峰高原がよく見える開けた斜面に出たが、丁度、滑落停止の練習に良い場所だった。今回はやめておいた。

何とか無事にビジターセンターに到着。アイゼンとか装備をしまうのに時間がかかり、慌ただしいので温泉はなしになった。また、いつかの楽しみに。腹痛だった大西さんもだいぶ収まったそうで、安心した。ビジターセンターの二階はカフェになっていて、みんなで思い思いの飲み物で、黒斑山登頂を祝い乾杯した。

（記録：高橋 写真：石井、高橋）

3月11日(水) 房州アルプス・群界尾根（鋸山東の肩～小保田峠）山行報告

参加者：前田、高橋、関口（前田友人）

集合：横浜駅そごう一階のバスターミナル18番 6:00 発木更津駅行・京急アクアライン

行程：横浜駅 6:00→木更津駅 7:41→上総湊駅→浜金谷駅 9:10⇒鋸山東の肩 10:35⇒小鋸山 12:30
⇒白狐峠⇒小保田峠 15:00⇒小保田 15:30⇒保田駅 16:58→浜金谷駅→東京湾フェリー17:50

時間通り、そごう一階のバスターミナル18番に集合して出発。ここまでたどり着くのに、バスターミナルが広くて、すぐにはわからなかった。何度か案内板を見ながら、早めに出て行って良かった。当てずっぽうに行ったら迷う所だった。アクアラインに入る前が渋滞していて、木更津駅には20分遅れて到着。走ったが、7:15分にあとちょっとのところで乗り遅れ、次の7:41分に乗った。上総湊駅で乗り継ぎをして浜金谷駅を歩き始めたのは9時過ぎだった。

金谷川の支流を隧道目指して、倒木や泥と落葉で荒れ果てた道を進んだ。所々に赤いテープがはってあって、少人数でも歩いている人がいることが分かった。隧道は倒木が作った土砂の影に、ポッカーと口を開けていた。中は真っ暗。かろうじて出口の明かりが遠くに見えた。前田さんが先頭をスタスタ歩いて行った。「底に気をつけて」と言った。底は石を削った跡で少し波打っていた。摺り足で進む。土砂や落葉は入り込んでおらず、岩だけのきれいなトンネルだった。不思議だ。誰かが掃除をしているのかな。隧道からは沢と別れ東にトラバース気味に進み、鋸山東の肩から伸びている尾根にぶつかった所で南に進路を変えた。だんだん急斜面になっていき、しかもザレザレで、四つん這いになって登った所もあった。やれやれ、今回の行程のメインイベントだった。



東の肩から先は一般ルートで、良く整備されていた。歩きやすく、天国だった。時おり、海が見えてきれいだった。小さなアップダウンが何度も続き、ピーク付近は岩がゴツゴツ出ている。小鋸山で来ると遅れを取り戻せ、かえって30分早くなっていた。小鋸山から小保田峠までは2月15日の嵯峨山山行で歩いている。

小保田峠から小保田まで下山した。里の道に蕨のとうが生えていた。花が開いて伸び過ぎてはいたが収穫した。10日位前だったら、まだ蕾だったろうか。家で天ぷらにして食べた。苦味のある春の味がした。

小保田から保田駅まで歩き、浜金谷駅に戻り、5:20分の東京湾フェリーに乗れた。窓側の席から海に沈む夕日が見えた。自分では選べないバリーコースを行けて、充実した楽しい山行だった。

（ 記録、写真：高橋 ）

おでん山行（2月休日例会山行の代替）

1. 日程：2026年3月25日（水曜日）
2. 参加者： 10名
3. 行程： 9時相鉄海老名駅集合～イオン（食材購入）～鶴巻温泉～吾妻山～11:30 弘法山
昼食後下山～東海大学前駅到着後解散
4. 山行報告

当初2月予定だったが、雨で順延、ようやく3月後半になって実施できた。午後からは雨模様の中で、いつものようにイオンでY幹事指導の下、テキパキとおでん食材などを購入、全員重たいザックを背負って鶴巻温泉駅まで電車で移動し、登山を開始する。予報は外れてしまい、もう雨がしとしと降り出した。やるしかないという覚悟で歩き出すとすぐに急登が始まり、いつもより足取りが重く感じる。雨予想のため、あらかじめ権現山から少し雨がしのげる弘法山



に場所を変えることにした。弘法山には先発のAさんTさん二人が場所を確保、すぐに調理が始った。コンロ3台におでん鍋2個、ホットワイン鍋（Nさん特製）1個、少し寒かったのでなおさらおでんやホットワインが美味しかった。雨がなかなか止まないのので早めに切り上げ、権現山には向かわずに東海大学大学前へと下山することにした。

（A氏）雨中でしたが、おでん・ワイン・酒・その他美味しく、会話も弾み楽しめ、ありがとうございました。

（Y氏）Aさん、早々に場所とり、ありがとうございました。風邪をひいてなければ良いのですが。大急ぎの山行でしたが、楽しかったですね。純米大吟醸までいただき、ほろ酔い気分で帰路につきました。

（T氏）少雨決行、合羽と傘で頑張りました。始終、穏やかで楽しかったです。皆が集まって鍋を囲む良さ、いいですね。

（Y氏）久しぶりに皆様の元気な顔を拝見して嬉しかった。手際よくおでんやホットワインなどの調理していただき女性陣には感謝の言葉しかありません。

（M氏）今日も雨、花冷えますね。初めてのおでん山行、雨模様でしたがとても楽しかったです。ホットワインが意外にもおでんとミスマッチでないことが分かりました。

（H氏）お堂の端で楽しくいただきました。

（S氏）雨のおでん山行、大変お世話になりました。記憶に残ります。ありがとうございます。

以上